

# Close encounter with UFO

# アイルランド上空UFO事件

The Irish Aviation Authority has begun an investigation into the sighting of an unidentified flying object (UFO) by a number of aircraft off the south-west coast of Ireland.

At approximately 6.47am on November 9, the pilot of a British Airways flight, call sign Speedbird94, contacted Shannon Air Traffic Control (ATC) to ask if there were military exercises taking place in the airspace through which her Boeing 787 was passing.

There were no military exercises underway.

Shannon ATC replied: "There is nothing showing on either primary or secondary [radar]."

The pilot then said: "It was

"Alright, The

Shannon ATC then said: "I'm going to have to

"She said it was a very

there were "multiple objects following the same sort of trajectory".

He said he had seen

if the pilot had seen

he had seen

pl

Pilot report UFO off Ireland coast

O streaking

fast" off coast of Ireland

## レーダーにも映らない物体。。。パイロット達が見たものとは？

2018年11月9日早朝

『右に曲がった。上昇した。2個の光体！！』

2018年11月9日朝、アイルランド ケリー州上空で3機の航空機（英ブリティッシュ・エアウェイズBA94便、 英ヴァージンアトランティック航空VS76便、 ノルウェーエアシャトル1768便）のパイロットが、非常に明るく輝き高速で移動する物体を目撃し、アイルランド・シャノン航空管制官に相次いで問い合わせるという特異な事件が発生した。

本事件は、英高級紙「The Guardian」やアイ

## Close encounter with UFO leaves pilots 'wondering'

Catherine Shanahan

The Irish Aviation Authority has begun an investigation into the sighting of an unidentified flying object (UFO) by a number of aircraft off the south-west coast of Ireland.

At approximately 6.47am on November 9, the pilot of a British Airways flight, call sign Speedbird94, contacted Shannon Air Traffic Control (ATC) to ask if there were military exercises taking place in the airspace through which her Boeing 787 was passing.

There were no military exercises underway.

Shannon ATC replied: "There is nothing showing on either primary or secondary [radar]."

The pilot responded: "OK. It was moving so fast."

The controller then asked: "Alongside you?"

The BA pilot, flying from

Montreal to Heathrow, described how he "came up along the left-hand side of the aircraft, "then rapidly veered to the north".

She said it was a "very

bright light" that "disappeared at very high speed".

She said they were "wondering what it could be, that we did not see on the control course".

The pilot of a Virgin Airlines Boeing 747, call sign Virgin76, then joined the conversation and made reference to a meteor or another object re-entering the earth's atmosphere and said that he had seen multiple objects following the same sort of trajectory".

He said they were very bright.

Shannon ATC then asked

if the pilots knew which direction the objects were heading.

Virgin76 said it was at 11 o'clock position" with "two bright lights over to the right", that then climbed at a steep angle.

ATC told the pilot it would

pass that information on.

Shannon ATC then told

Speedbird94 that "other aircraft in the area who reported the same thing as we are going to have a look and see".

Another pilot said the

speed of the UFO was "astronomical, it was like Mach 2", or twice the speed of sound.

The Virgin Airlines flight, from Gatwick to Manchester, can carry 455 passengers, while the 787 has 214 seats. A third aircraft, a Virgin Atlantic 737 travelling from Stevenage, New York, to Shannon, which can carry 200 passengers, was also party to the conversation.

The BA flight was passing over Kerry at the time, while the other two flights were in the south-west corner, heading eastwards, and in high-level airspace, which extends from 24,500ft upwards.

The Irish Examiner contacted the Irish Aviation Authority to ask if it was investigating the UFO. In a statement, the authority said: "Following reports from a small number of aircraft on Friday, November 9, of unusual air activity, the IAA has filed a report."

"This report will be investigated under the normal confidential occurrence investigation process."

『パイロット不思議に思う、UFOとの密接な出会い』  
本事件を報じる[The Irish Examiner]2018. 11. 12付

ルランドの「The Irish Times」「The Irish Examiner」など各地方紙が報じ、アイルランド航空局（IAA）が事件について調査中であることをコメントした。

航空機情報サイト「Airlive」では、遭遇時のパイロットと航空管制官の実際の交信記録（Audio records）を公開した。

さらに、英BBC、アメリカCNN・CNBCなどの大手メディアをはじめカナダ・ニュージーランドなど世界各国で稀にみる早さで事件を大々的に報じた事からも、本事件への関心の高さが伺える。

11月12日付けローカル紙「The Irish Examiner」では、航空ジャーナリストのジェリー・バーン氏が低い軌道で大気圏に突入する隕石の可能性に言及したが、果たしてその可能性はあるのだろうか？

本事件の目撃物体の正体を明らかにするべく、関係資料を集め、それを精査した。

以下、3機のパイロットと航空管制官との実際の交信記録（英文）、及びその和訳である。

# アイルランド上空 3機のパイロットと航空管制官の交信記録

BA94便 (英ブリティッシュ・エアウェイズBA94便)  
1768便 (ノルウェーエアシャトル1768便)  
VS76便 (英ヴァージンアトランティック航空VS76便)  
ATC (アイルランド・シャノン航空管制官)

※東ATC：東側区域担当管制官(男性) 西ATC：西側区域担当管制官(女性)

6:47 (UTC)  BA94便(女性パイロット)：Shannon, Speedbird 94?  東ATC : Go ahead.  BA94便(女性パイロット) : Is there any military traffics up right now?  東ATC : There's nothing showing on either primary or secondary.  BA94便(女性パイロット) : Okay, it was moving so fast and we just wondering what it was. Thank you.  東ATC : Alongside you?  BA94便(女性パイロット) : It came up on our left hand side and then rapidly verred to the north.. We saw a bright light and then it disappeared at a very high speed. We were just wondering. We didn't think it was likely collision course. We were just wondering what could be.  1768便 : ..meteor or another object making some kind of re-entry. Appeared to be multiple objects following the same sort of trajectory and very bright where we were.  西ATC : Okay, that's copied. Is there a direction it was going or anything?  1768便 : [Answer not heard]	94便から、シャノン。  どうぞ。  現在(この空域で)軍事演習は行われていますか？  軍事演習は行われていません。 一次レーダー・二次レーダーには何も映っていません。 そうですか、何かが高速で移動しました。 何だったんだろう。  近くですか？  それは機の左手側に現れて急に北に進路を変更しました。 私たちが遭遇した発光体は、高速で視界から消え去りました。 何だったのかな～。 私たちは(その発光体とは)衝突するとは思いませんでした。 いったい何だったんだろう。  隕石か他の何かの物体が再突入したか・・・ 同じ軌道をたどる非常に明るい複数の物体が現れた。
西ATC : Copied, thank you.	了解。 方角はわかりますか？  (応答聞こえない)  了解。ありがとう。

VS76便: Virgin 76 also saw that in our 11 o' clock position, 2 bright lights	76便も11時の方向に2つの明るい光があるのを確認しました。
西ATC : Roger, that's copied, thank you	了解。
1768便: Glad it wasn't just me.	見たのが私だけでなくてよかったです。
VS76便: No, yeah, very interesting that one. Shannon, Virgin76, we saw 2 bright lights 11o' clock. Seemed to bank over to the right and then climbed away at speed at least from our perspective.	そうです、あなただけじゃないです。 とても興味深いですよね。 シャノン、76便は11時の方向に2つの明るい光を見ました。(左前方に現れて)右に曲がり、素早く上昇して消えました。
西ATC : Okay, we are passing that now, thank you.	了解。
東ATC : Speedbird 94, Shannon?	シャノンから94便。
BA94便(男性パイロット): 94, go ahead.	94便です、どうぞ。
東ATC : Okay, just so know that other aircraft in the air have also reported the same thing. So we are going to have a look and see	飛行中のほかの航空機も同じ報告をしています。 私たちも注視し続けます。
BA94便(男性パイロット): The thing was astronomical, like Mach2 or something.	物体の速さは天文学的で、マッハ2くらいでした。
6:49	
東ATC : Roger, okay, thank you.	了解。

※UTC(世界協定時)とは、世界各地の標準時をきめるときの基準となる世界標準時のこと。航空界で用いられている時間はUTCである。尚、アイルランドは西ヨーロッパ時間となり11月はUTC+0である。

※Speedbird とは、ブリティッシュ・エアウェイズの航空管制におけるコールサイン。現在のブリティッシュ・エアウェイズの前身の一つであるインペリアル・エアウェイズの飛行中の鳥をイメージした企業ロゴデザインからきており、ブリティッシュ・エアウェイズが受け継いだことから現在もコールサインとして使われている。

※一次監視レーダー(PSR:Primary Surveillance Radar): レーダーから発射した電波がターゲットにあたって反射してきた電波をレーダーが受信して、ターゲットの方位と距離を検出する方式。

※二次監視レーダー(SSR:Secondary Surveillance Radar) : レーダーが発射した電波を航空機がいったん受信した後、航空機から再び発射した応答電波をレーダーが受信する方式。地上のレーダー表示画面に航空機の識別、高度並びに緊急事態の発生等を表示する。SSRの主要諸元は、200NM(370km)である。

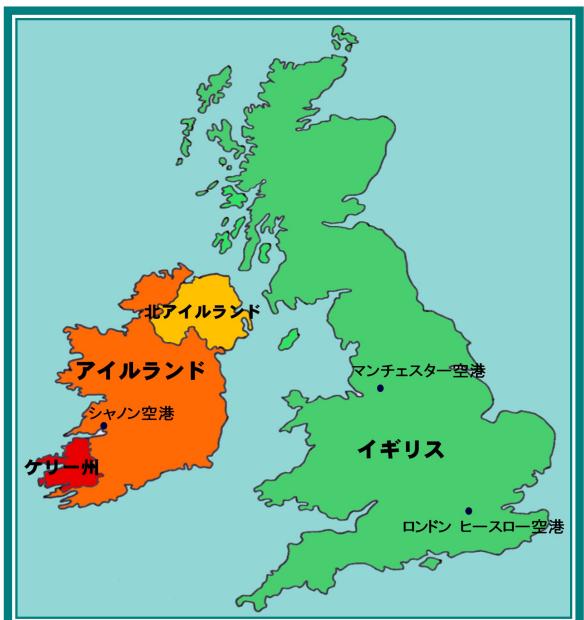
※航空路監視レーダー (ARSR:Air Route Surveillance Radar) は一次監視レーダーであり、二次監視レーダーと組み合わせエンルート上の航空機を探知し、航空機の誘導及び航空機相互の間隔設定等、レーダーを使用した航空路管制業務に使用される。ARSRの主要諸元は、200NM(370km)、高度70,000ft(21,336m)、仰角0.5~30度である。

※洋上航空路監視レーダー(ORSR:Oceanic Route Surveillance Radar) : ARSRでカバーされない洋上空域を監視するためのレーダー。ORSRの主要諸元は、250NM(463km)である。

◇NM : 1海里 = 1,852m      ft : 1フィート = 0.304m      ◆参照 航空管制用レーダーの現代と将来

航空機情報サイト「Airlive」の交信記録によると、前頁の交信以前のやり取りも公開されており、2018年11月9日午前6時35分頃、カナダ モントリオール発 イギリス(ロンドン)ヒースロー行 英ブリティッシュ・エアウェイズBA94便(ボーイング787-8Dreamliner)は、アイルランドケリーー州海岸上空38,900フィートを、マッハ0.84のスピードで飛行中であったが、航空管制官からの指示によりマッハ0.83の飛行速度に切り換え飛行していたという。

本事件の遭遇状況を精査すると以下のようになる。



遭遇機	ブリティッシュ・エアウェイズ BA 94便 (カナダ モントリオール発→ イギリス ヒースロー行)	ノルウェーエアシャトル 1768便 (アメリカ スチュワート発→ アイルランド シャノン行)	ヴァージンアトランティック航 空 VS 76便 (アメリカ オーランド発→ イギリス マンチェスター行)
機種	ボーイング787-8 Dreamliner 	ボーイング737 	ボーイング747-400 
遭遇地点	►アイルランドケリーー州海岸上空38,900フィート飛行中	►アイルランド南西沖34,000フィートから徐々に高度を下げ飛行	►アイルランド南西沖36,000フィート飛行中
パイロットの主な通信内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>►6:47 軍事演習の有無を確認</li> <li>►機の左側に非常に明るい光体が現れ急に北に進路変更した</li> <li>►物体は高速で見えなくなった</li> <li>►物体の速度：マッハ2くらい</li> </ul> <p>►光体と衝突するとは思わなかつた</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>►同じ軌道をたどる複数の光体を目撃</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>►機の11時の方向に2つの明るい光を目撃</li> <li>►物体は左前方に現れて右に曲がり、素早く上昇し消失</li> </ul> <p>►とても興味深い物体だった</p>

#### シャノン航空管制官 主な通信内容

- 6:47 BA94便からの軍事演習の有無確認 に対し  
「軍事演習は行われておらず、一次監視レーダー・二次監視レーダーには何も映っていない」
- 3機からの報告を受け、BA94便 に対し  
「飛行中の他の航空機も同じ報告をしている。管制室も注視し続ける」と交信

目撃物体の可能性としては、①人工衛星の残骸・スペースデブリ②火球(含む彗星)の落下③UFO(未確認飛行物体)が考えられる。

人工衛星の残骸やスペースデブリは、様々な軌道上に存在し、地球の重力や希薄大気の抵抗及び寿命、意図的な爆発・破壊、さらには何かとの衝突により落下するが、このとき物体には外力の作用を受けない限りその速さで等速直線運動を続けようとする慣性が働き、同様に、宇宙空間から大気圏に突入する彗星や火球の落下時にも慣性が働く。

しかし、パイロットの交信記録によると、本事件での目撃物体は高速での進路変更を可能とし、それ自体の上昇現象も確認されている。火球などが高速で大気圏に突入し分裂した際、分裂した破片が軌道に沿うか、或いは地球の重力で下降することはあるが、それが上昇することは不可能なのである。

また、火球特有の隕石雲や衝撃波も報告されていない。

従って、人工衛星やスペースデブリ及び火球などの落下による物体の進路変更や上昇現象であったとは考えられず、目撃された飛行物体そのものに運動能力が備わり、それが知的にコントロールされていたとの見方ができる。

以上の事から、①～③を検討した結果、①②は該当せず、複数のパイロットにより目撃された飛行物体は③UFO(未確認飛行物体)であるとの結論が導き出されたのである。

さらに、パイロットの交信内容からVS76便は2機のUFOと遭遇し、1768便パイロットは「複数」と通信していることから3機以上のUFOと遭遇、BA94便は1機のUFOと遭遇していたと推察された。

また、2018年11月13日付けのIrish Mirror紙では事件翌日地上での目撃撮影も報じている。

過去のサイティングリポート(目撃報告)から、UFO目撃の多くは、①核実験場及び核施設(含む核ミサイル基地)②巨石文化系の古代遺跡③活断層の多い地殻変動帯で発生していることがわかっているが、アイルランドには多数の巨石遺構が点在している。

アイルランドは、軍の37年にわたる未確認飛行物体に関する報告書を2007年に国防総省が情報公開しており、近年ではこれまで機密扱いのUFO報告書を米・英・仏・ブラジル・チリ・スペインなど次々と開示している。

尚、民間航空機とUFOとの遭遇事件は、2018年2月24日アメリカ・アリゾナ州上空で発生した以来となる。

